

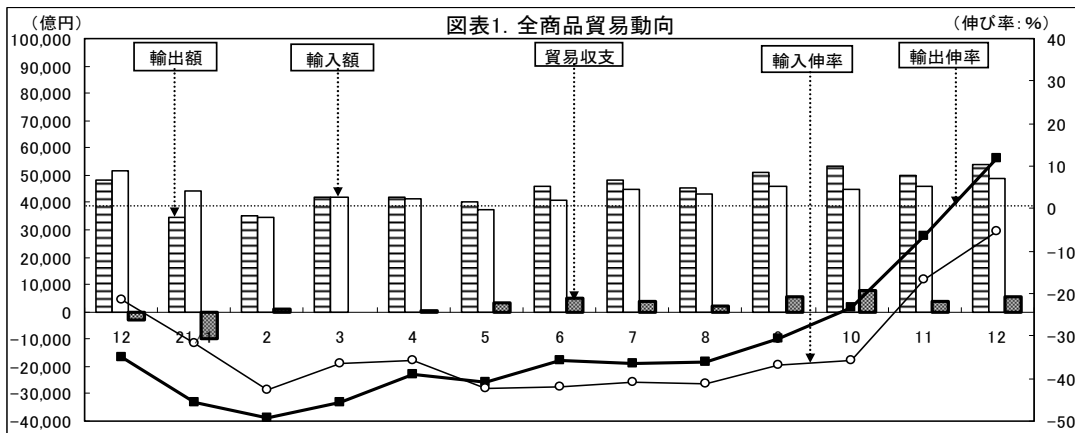
最近の機械貿易動向(平成21年12月)について

2010. 2. 9. 日本機械輸出組合

平成21年12月の機械輸出額は、3兆4,696億円、対前年同月比5.7%増と1年5ヶ月ぶりにプラスに転じた。これは中国、アジア NIES/ASEAN 向けが大幅に回復したこと、自動車、光学機械、電子デバイス等が大幅に伸びたこと、そして、昨年の12月が35.8%減と大幅に落ち込んでいたことが原因である。平成22年1月の機械輸出額は、12月の実質の伸びが7.7%増と高まっていること、昨年の1月が48%減とさらに落ち込んでいること、為替レートがやや円安となっていることから、輸出の伸びは12月上回るものと予想される。なお、2月上中旬の全商品輸出額は42.1%増と大幅な伸びとなっている。

1. 全商品貿易動向～輸出は1年3ヶ月ぶりにプラスへ～

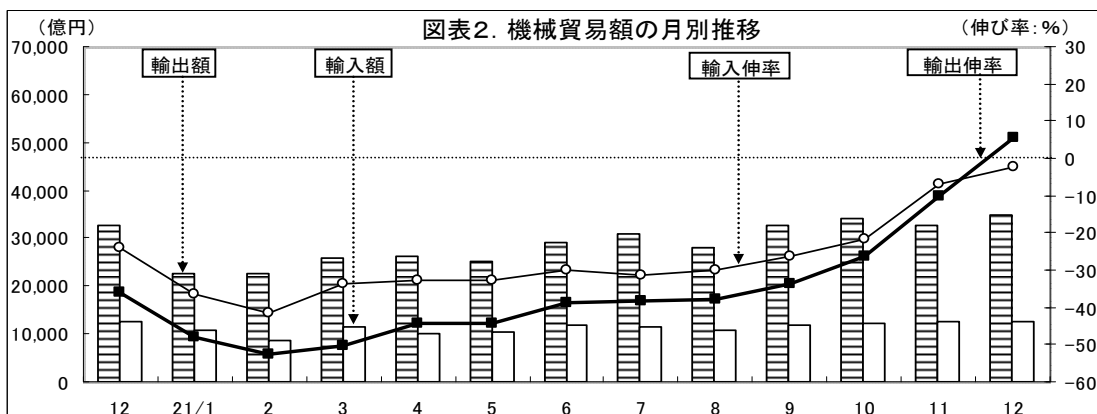
- 平成21年12月の全商品輸出額は**5兆4,125億円**、前年同月比(以下同じ)**12.0%増**と1年3ヶ月ぶりにプラスとなった。商品別では、全輸出額の11%を占める化学製品が54.7%と大幅増になったほか、19%を占める電気機器(19%増)、科学光学機器(40.8%増)も大幅な増加となった。
- 輸入額は**4兆8,682億円**、**5.5減**と落込み幅を大幅に縮小した。これは、全輸入額の12%を占めるTV等の電気機器が4.1%増となったほか、3%の航空機等の輸送機械が7.7%増とプラスになったこと。32%の鉱物性燃料が0.3%減とほぼ横這いになったためである。
- この結果、12月の貿易収支は、輸出の伸び率がプラス、輸入がマイナスとなったため、貿易収支は5,442億円の黒字となった。



2. 機械貿易動向

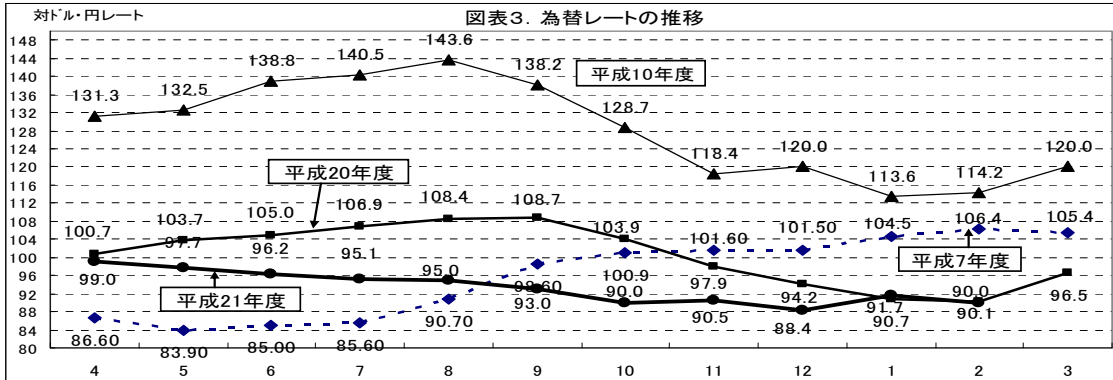
(1) 機械輸出入動向～機械輸出は1年5ヶ月ぶりにプラスへ～

- 全商品輸出額の64%を占める12月の機械輸出額は**3兆4,696億円**、**5.7%増**と1年5ヶ月ぶりにプラスになった(11月10.3%減)。一方、全商品輸入額の27%を占める機械輸入額は、**1兆2,412億円**、**2.4%減**と落込み幅はさらに減少した(11月6.9%減)。



(2) 為替動向～12月の円高要因は2%に縮小、平成22年1月は1.2%の増加要因～

- ・平成21年12月は1ドル=88.4円と対ドルでは円高が進んだが前年の円高で**6.1%の円高**、対ユーロでは**9%の円安**となり、円建輸出額減少要因は**2%に縮まった**(11月は3.1%)。この結果、機械輸出伸び率は**5.7%増**であったが、実質は**7.7%増**となり、プラスに転じた(11月は実質12.8%減)。しかし、これは昨年12月の機械輸出額が35.8%に落ち込んだことが大きく影響している。
- ・平成22年1月は1ドル=91.7円と円高が緩み、前年が円高であったため**1.1%の円安**に逆転した。対ユーロでも**6%の円安**となった。この結果、円建輸出額では1.2%の増加要因となった。さらに、昨年1月は輸出が48%減となったために輸出伸び率はさらに高まる可能性がある。**2月**は、対ドルが現状の90円とすれば前年度と同じとなり、対ユーロでは122円とすれば4.4%の円安となり、為替の円建輸出額への影響は殆ど無くなる。



(3) 地域別動向～中国向けが45.9%増、NIES/ASEAN向け18%増～

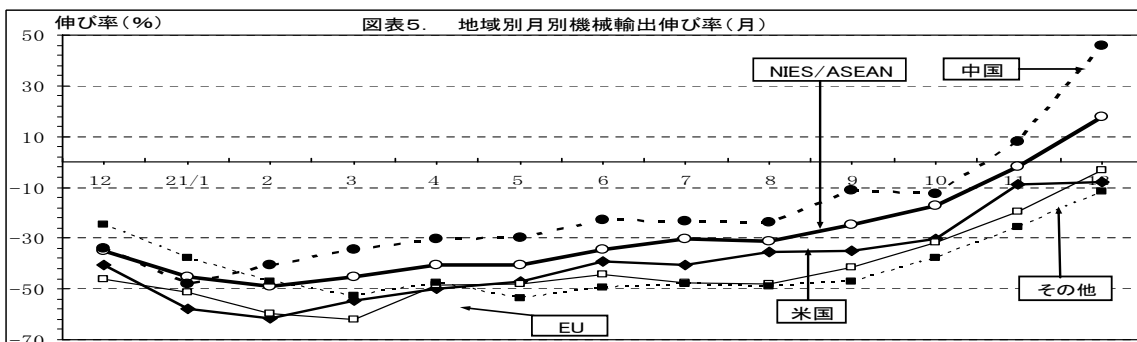
- ・地域別で前年比プラスとなったのは、①機械輸出額の19%を占める**中国向け**が、自動車関連が約2倍、電子デバイス、光学機械、建設機械、デジカメが大幅に増加したことにより、**45.9%増**と大幅な伸びとなったこと。なお、中国向けの輸出額が米国を上回り最大の輸出相手国となった。②29%と最大の機械輸出市場の**NIES/ASEAN向け**は、台湾、韓国、香港向けが20%増台、シンガポールを除き全てプラスになるなど、**18%増**と大幅に増加したことによる。

一方、依然としてマイナスが続いているのが、③13%を占める**欧州向け**であるが、自動車(13.5%増)が増加したことから**3.3%減**と落込み幅は急速に縮小した。また、④20%の**北米向け**も輸出額の半分を占める自動車関連が3%増とプラスに転じたため**8.1%減**と落込み幅をさらに減じている。⑤20%を占める**その他地域向け**は、ロシア・東欧(32.4%減)、中近東(26.9%減)、アフリカ(23.6%減)が依然として大きく落込み、**11.8%減**と最大の落込み幅となっている

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

	2009/9			2009/10			2009/11			2009/12		
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア
全世界計	32,846	▲ 33.6	100	34,211	▲ 26.4	100	32,661	▲ 10.3	100	34,696	5.7	100
北米	7,158	▲ 35.2	21.8	7,195	▲ 30.1	21.0	7,328	▲ 9.0	22.4	6,995	▲ 8.1	20.2
EU	4,306	▲ 41.5	13.1	4,713	▲ 31.7	13.8	4,259	▲ 19.5	13.0	4,419	▲ 3.3	12.7
NIES/ASEAN	9,150	▲ 24.8	27.9	9,702	▲ 17.3	28.4	9,197	▲ 1.9	28.2	10,038	18.0	28.9
中国	5,750	▲ 11.2	17.5	5,782	▲ 12.5	16.9	5,437	7.9	16.6	6,424	45.9	18.5
その他	6,483	▲ 47.3	19.7	6,819	▲ 37.7	19.9	6,441	▲ 25.5	19.7	6,822	▲ 11.8	19.7

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位:億円)

国名	2009/9		2009/10		2009/11		2009/12	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,649	▲ 32.3	1,808	▲ 22.6	1,702	▲ 0.7	1,822	23.6
台湾	1,532	▲ 28.9	1,708	▲ 12.2	1,677	6.9	1,844	23.9
香港	1,659	▲ 23.9	1,841	▲ 3.1	1,712	3.1	1,671	21.5
タイ	1,265	▲ 15.4	1,361	▲ 13.7	1,268	▲ 3.6	1,426	15.4
シンガポール	1,135	▲ 13.2	865	▲ 37.3	874	▲ 21.6	974	▲ 17.3
マレーシア	680	▲ 23.7	753	▲ 12.8	702	9.1	751	44.4
フィリピン	479	▲ 18.1	474	▲ 10.4	448	8.0	543	46.5
インドネシア	449	▲ 41.5	524	▲ 34.4	517	▲ 19.6	650	25.3
ベトナム	269	▲ 25.8	321	▲ 11.0	267	1.3	319	8.2
その他地域								
中南米	1,932	▲ 31.8	2,642	▲ 17.0	2,359	▲ 2.6	2,331	1.2
中近東	1,154	▲ 48.1	1,504	▲ 45.2	1,576	▲ 36.5	1,685	▲ 26.9
大洋州	1,076	▲ 22.9	1,161	0.5	1,014	9.2	1,040	21.1
ロシア東欧等	756	▲ 72.9	717	▲ 69.2	608	▲ 59.1	670	▲ 32.4
アフリカ	833	▲ 23.6	511	▲ 50.5	590	▲ 39.1	613	▲ 23.6
インド	295	▲ 44.6	333	▲ 27.6	316	▲ 2.6	410	20.6

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向～全 19 業種中 11 業種がプラス～

・業種別では、全 19 業種中 8 業種とマイナスの業種は大幅に減少した。大幅な伸びとなった光学機械(75.3%増)、電子デバイス(36.7%増)、繊維機械(29.9%増)、軽電気機械(25.4%増)、軽機械(16.5%増)、民生用電子機械(11.9%増)などの順となっている。また、輸出の 1/3 をしめる自動車が増え、プラスとなったことも大きく影響した。

一方、依然として大きな落ち込みが続いているのが、工作機械(34.7%減)、農業機械(31.4%減)、産業車両(28.8%減)、船舶(26.9%減)などとなっている。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

2009/10				2009/11				2009/12			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
自動車	10,990	▲ 29.4	33.5	自動車	11,085	▲ 10.8	33.9	自動車	11,419	9.2	32.9
産業機械	5,183	▲ 32.3	15.8	産業機械	5,211	▲ 11.5	16.0	産業機械	5,863	▲ 4.7	16.9
電子デバイス	3,370	▲ 16.1	10.3	電子デバイス	3,105	2.5	9.5	電子デバイス	3,355	36.7	9.7
民生用電子機械	2,402	▲ 32.0	7.3	民生用電子機械	2,127	▲ 13.1	6.5	民生用電子機械	1,922	11.9	5.5
船舶	2,029	▲ 6.2	6.2	船舶	1,722	▲ 9.4	5.3	船舶	1,431	▲ 26.9	4.1
軽電気機械	1,942	▲ 18.8	5.9	軽電気機械	1,740	▲ 5.1	5.3	軽電気機械	1,925	25.4	5.5
重電気機械	1,725	▲ 21.6	5.3	重電気機械	1,649	▲ 0.2	5.0	重電気機械	1,789	3.2	5.2
光学機械	1,172	1.6	3.6	光学機械	1,055	17.7	3.2	光学機械	1,162	75.3	3.3
軽機械	1,136	▲ 13.1	3.5	軽機械	990	▲ 11.3	3.0	軽機械	1,200	16.5	3.5
電子計算機	681	▲ 30.8	2.1	電子計算機	638	▲ 13.4	2.0	電子計算機	667	10.8	1.9
通信機械	670	▲ 21.5	2.0	通信機械	582	▲ 11.4	1.8	通信機械	608	▲ 2.7	1.8
建設機械	580	▲ 55.0	1.8	建設機械	610	▲ 41.6	1.9	建設機械	797	▲ 18.6	2.3
医療機械	325	▲ 18.1	1.0	医療機械	335	▲ 8.3	1.0	医療機械	368	5.2	1.1
ベアリング	286	▲ 24.5	0.9	ベアリング	266	▲ 13.3	0.8	ベアリング	306	5.4	0.9
工作機械	284	▲ 64.1	0.9	工作機械	282	▲ 53.4	0.9	工作機械	376	▲ 34.7	1.1
陸用内燃機関	246	▲ 31.0	0.7	陸用内燃機関	223	▲ 10.0	0.7	陸用内燃機関	283	1.7	0.8
農業機械	140	▲ 21.2	0.4	農業機械	133	▲ 20.4	0.4	農業機械	166	▲ 31.4	0.5
繊維機械	126	11.2	0.4	繊維機械	118	23.3	0.4	繊維機械	141	29.9	0.4
産業車両	93	▲ 54.3	0.3	産業車両	88	▲ 46.2	0.3	産業車両	97	▲ 28.8	0.3
事務機械	74	▲ 32.7	0.2	事務機械	64	▲ 37.3	0.2	事務機械	69	▲ 17.7	0.2
19機種合計	33,454		97.8	19機種合計	32,023		98.0	19機種合計	33,944		97.8

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品。電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品。軽電気機械:白物家電、電子計測器。軽機械:分析器。光学機械:光学材料、カメラ。事務機:複写機(単機能)、会計機

(5) 機種別動向～光学機械、電子計測器、自動車部品、電子デバイスが大幅増～

・12月においては大幅に増加する機種が増え、中でも光学機械(75.3%増)、電気・電子計測器、自動車部品(42.4%増)、電子デバイス(36.7%増)、繊維機械(29.9%増)、バルブ・コック(23.5%増)は2ヶ月以上連続で20%以上の増加となった。一方、最も落ち込み幅が大きいのがエアコン(88.4%減)、携帯電話(81%減)、発電機(62.3%減)、TV(41.3%減)、工作機械(34.7%減)、運搬機械(34.7%減)などとなっている。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円、前年比増、10機種以内)

(単位:億円)

2009/10			2009/11			2009/12		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
電子応用装置	48	13.0	発電機	252	96.0	光学機械	1,162	75.3
繊維機械	126	11.2	原動力機械	439	26.9	電気・電子計測器	321	48.1
光学機械	1,172	1.6	繊維機械	118	23.3	自動車部品	3,883	42.4
			光学機械	1,055	17.7	電子デバイス	3,355	36.7
			電気・電子計測器	272	12.7	繊維機械	141	29.9
			自動車部品	3,381	8.9	デジカメ	681	25.3
			バルブ・コック	277	2.9	バルブ・コック	318	23.5
			半導体・デバイス	3,105	2.5	電池	365	23.2
						民生用部品	871	21.0
						電子応用装置	42	19.2
機種合計	1,346	3.9%	機種合計	8,899	27.2%	機種合計	1,364	3.9%

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

(注)伸び率10%以上機種が少ないため、「伸び率」が10%未満でも記載。

図表9. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内)

(単位:億円)

2009/10			2009/11			2009/12		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
エアコン	9	▲ 91.1	エアコン	8	▲ 90.5	エアコン	10	▲ 88.4
携帯電話	5	▲ 69.1	携帯電話	2	▲ 84.1	携帯電話	3	▲ 81.0
工作機械	284	▲ 64.1	工作機械	282	▲ 53.4	発電機	123	▲ 62.3
運搬機械	154	▲ 56.9	産業車両	88	▲ 46.2	TV	83	▲ 41.3
建設機械	580	▲ 55.1	運搬機械	190	▲ 44.2	工作機械	376	▲ 34.7
産業車両	93	▲ 54.3	建設機械	610	▲ 41.6	運搬機械	233	▲ 34.7
据置型VTR	13	▲ 50.2	事務機械	64	▲ 37.3	農業機械	166	▲ 31.4
産業用ロボット	44	▲ 50.0	TV	72	▲ 35.7	産業車両	97	▲ 28.8
半導体製造装置	728	▲ 39.4	産業用ロボット	45	▲ 32.2	船舶	1,431	▲ 26.9
乗用車	6,152	▲ 37.2	据置型VTR	12	▲ 30.5	据置型VTR	14	▲ 24.4
機種合計	8,048	23.5%	機種合計	1,373	4.2%	機種合計	2,536	7.3%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 *機種合計の%は機械輸出額に対する割合

(6) 機械輸入動向～落込み幅を大きく縮小、携帯電話、TVの輸入急増～

・12月の機械輸入額は2.4%減と落込み幅が大きく縮小した。その原因は、①二大輸入機種の電子デバイスが8.4%増とプラスになったこと、②TV(83.5%増)、携帯電話(30%増)が急増していること、医療機器もプラスとなったこと、③民生用電子部品、光学機械、分析・試験・検査機もプラスに転じたことによる。

なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、医療機器、白物家電、携帯電話、TV、時計、事務機械、ラジオ、エアコン、写真機となっている。

・地域別輸入額は、中国(0.7%減)、ASEAN(0.2%減)、北米(0.8%減)、韓国・台湾(3.3%増)、EU(8.8%減)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種

(単位:億円、%)

2009/10				2009/11				2009/12			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	1,632	▲ 16.6	15.1	電子デバイス	1,642	1.9	15.2	電子計算機	1,587	▲ 8.3	12.8
電子計算機	1,535	▲ 22.0	14.2	電子計算機	1,502	▲ 9.0	13.9	電子デバイス	1,457	8.4	11.7
重電気機械	553	▲ 38.7	5.1	重電気機械	627	▲ 10.6	5.8	重電気機械	554	▲ 20.7	4.5
自動車部品	543	▲ 35.7	5.0	自動車部品	601	▲ 14.8	5.6	自動車部品	530	▲ 6.1	4.3
医療機器	415	▲ 3.7	3.8	乗用車	539	▲ 9.0	5.0	乗用車	508	▲ 9.6	4.1
白物家電	414	▲ 22.7	3.8	白物家電	463	▲ 8.0	4.3	白物家電	427	▲ 0.4	3.4
乗用車	344	▲ 27.0	3.2	医療機器	414	5.1	3.8	TV	406	83.5	3.3
民生電子部品	337	▲ 18.3	3.1	民生電子部品	393	▲ 9.0	3.6	医療機器	384	▲ 7.1	3.1
光学機械	307	▲ 31.7	2.8	TV	334	60.3	3.1	民生電子部品	355	7.2	2.9
TV	260	14.7	2.4	携帯電話	328	148.3	3.0	光学機械	325	4.8	2.6
携帯電話	245	67.0	2.3	光学機械	325	▲ 8.0	3.0	携帯電話	288	30.0	2.3
分析・試験・検査機	244	▲ 22.4	2.3	分析・試験・検査機	256	▲ 3.5	2.4	分析・試験・検査機	263	1.4	2.1
12機種合計	6,829		56.1	12機種合計	7,424		61.0	12機種合計	7,084		57.1

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電:民生用電気機械